

2006年（平成18年）11月29日

各 位

本店所在地 東京都千代田区一番町8番地  
会社名 そーせいグループ株式会社  
(コード番号 4565 東証マザーズ)  
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一  
問い合わせ先 代表執行役副社長 前川 裕貴  
電話番号 03-5210-3290(代表)

### 開発品 QVA149 の臨床開発段階への移行（2007年）と NVA237 の現状について

そーせいグループは、2006年11月28日にノバルティス AG（スイス）がロンドンで開催したパイプライン現況報告会において、後期開発ステージにある呼吸器疾患領域プロジェクトの順調な進捗を強調し、また QVA149 の初期製剤検討が良好な結果で終了し、同開発品の臨床試験を2007年に開始する予定であると発表したことをお知らせいたします。

QVA149 は、2005年に当社グループがノバルティスにライセンス・アウトした長時間作用型ムスカリン拮抗薬の NVA237 と、ノバルティスの1日1回吸入の長時間作用型 $\beta_2$ 刺激薬である indacaterol を固定用量で配合した慢性閉塞性肺疾患（COPD）向けの治療薬です。

また、ノバルティスは今回のパイプライン現況報告会において、NVA237 および QVA149 を2010年に承認申請する計画であることを説明しています。

当社グループ代表執行役社長田村眞一は次のように述べております。「ノバルティスが QVA149 の臨床試験を2007年に開始し、QVA149 及び NVA237 の2010年承認申請を目標としていることを大変喜ばしく思っております。QVA149 と NVA237 が、患者数が増加している慢性閉塞性肺疾患（COPD）の重要な治療法となることを確信しております。」

- 記事終了 -

編集者の方々への追記：

**ノバルティス社との NVA237 ライセンス契約について：**

2005年4月、Sosei R&D社（当時 Arakis 社）とベクチュラ社は両社の共同開発品 NVA237 について、ノバルティスと全世界の独占的開発・販売権に関して合意に至りました。ノバルティスは、本開発品の単剤および indacaterol（1日1回吸入の気管支拡張剤）との配合剤での開発および販売に関して権利を供与されております。

当該契約締結により Sosei R&D 社とベクチュラ社はそれぞれ 15 百万ドルの契約一時金を受領しており、今後は、単剤および配合剤における開発、申請・承認、販売の、契約により定められた段階に応じて、マイルストーン料総計 172.5 百万ドルを各々受領できる条件となっております。契約一時金およびマイルストーン料の総額は 375 百万ドル（両社合計）となり、更に販売高に応じたロイヤリティを受け取ることとなります。本開発品を使用した第三の製剤が製品化された場合には、更なるマイルストーン料およびロイヤリティが発生する契約となっております。

**そーせいグループ株式会社**

そーせいグループは医薬品開発に注力するバイオ医薬品企業として、独自のプロダクト・デイスカバリー（開発品創出機能）と開発戦略を有しております。既知の医薬品および医薬品候補化合物を基に新規用途を探索する手法により、医薬品開発に伴うリスクを低減しうるビジネス戦略を構築し、また、日本および欧米市場間の医薬品の導入・導出を通じて独自の事業展開を目指しております。

当社グループでは、株式会社そーせい（東京）が日本市場をターゲットにした製品の開発・販売を主事業とし、Sosei R&D Ltd.（英国エセックス）がグループの研究・創薬と欧米における製品開発を主事業としています。

そーせいについての詳細な情報は、[www.sosei.com](http://www.sosei.com) をご覧下さい。

以上